



令和7年9月30日
太宰府くじら保育園
看護師 原口

夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。

さわやかに吹く風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗い・うがいや衣服の調節などをして、かぜを予防しましょう。

健診のおしらせ

毎日の園生活が元気で健康に過ごせるように心身の発育や成長、また、お口の中の健康チェック、むし歯がないかを園医の先生に診ていただきます。

また、当日お休みされた場合は、後日個別で受診していただくことになります。

●歯科健診 11月13日(木) 10:00～

●内科健診 11月19日(水) 13:30～

●尿検査 検査キット配布 11月10日(月)

提出日 11月12日(水)



10月10日は 目の愛護デー



生まれたときは明暗を感じる程度の子どもの視力が、大人並みの1.0くらいになるのが6歳頃と言われています。子どもは視力に異常が生じても自分で訴えることは難しいので、下記の症状が見られたら眼科を受診しましょう。

こんなときは心配です!

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いに物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている
- ・見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする

●インフルエンザ予防接種について●

風邪よりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0～2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

去年インフルエンザの予防接種を受けたので 今年は受けなくてよい?

➡毎年流行する型が違います。毎年予防接種を受けることで、効果が期待できます。

受けるとインフルエンザにかからないの?

➡必ず防げるというものではありませんが、重症化や合併症のリスクを減らすことができます。

予防接種の効果が続く期間は?

➡効果が現れるまで約2週間かかり、その後半年くらいは持続します。

接種の方法は?

➡生後6ヵ月から受けられます。13歳以下は2回接種が必要です。1回目の接種の後、2～4週間あけて2回目を接種します。ただし卵アレルギーがある子は、医師と相談しましょう。

いつごろ受けた方がいいの?

➡最も患者が増えるのは1月～2月ですが、流行は12月から始まります。それまでに免疫をつけておきたいので、1回目は10月後半ごろ、2回目は2～4週間後に接種しましょう。

予防接種後は体調の観察を行うので、担任まで報告をお願いいたします。